

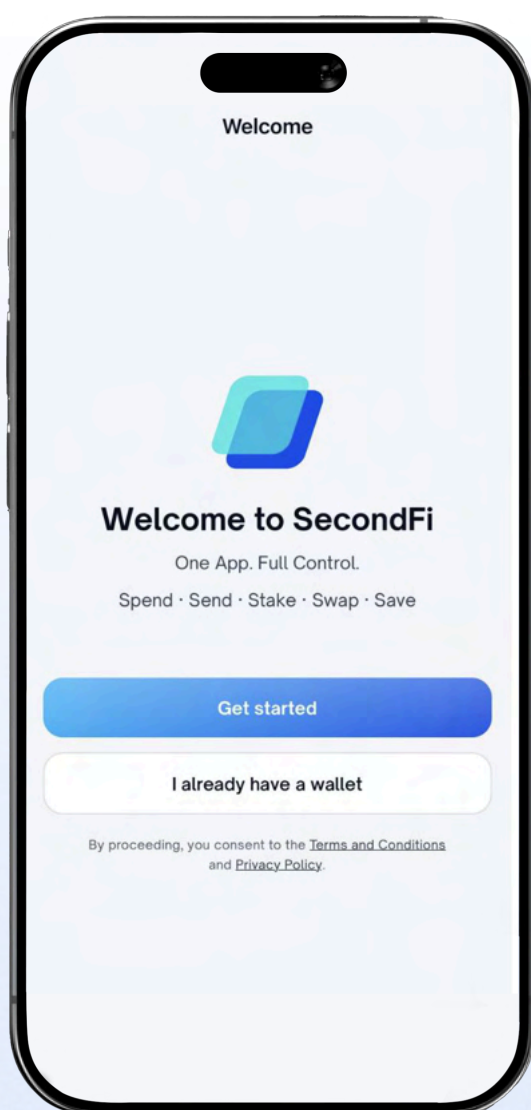
Yoroi から SecondFi へ の移行ガイド

Yoroi ウォレットは SecondFi に進化いたします。本ガイドでは、移行で変わる点・変わらない点・必要なお手続きを順にご案内いたします。



01 アプリのはじめ方 (初回セットアップ／オンボーディング)

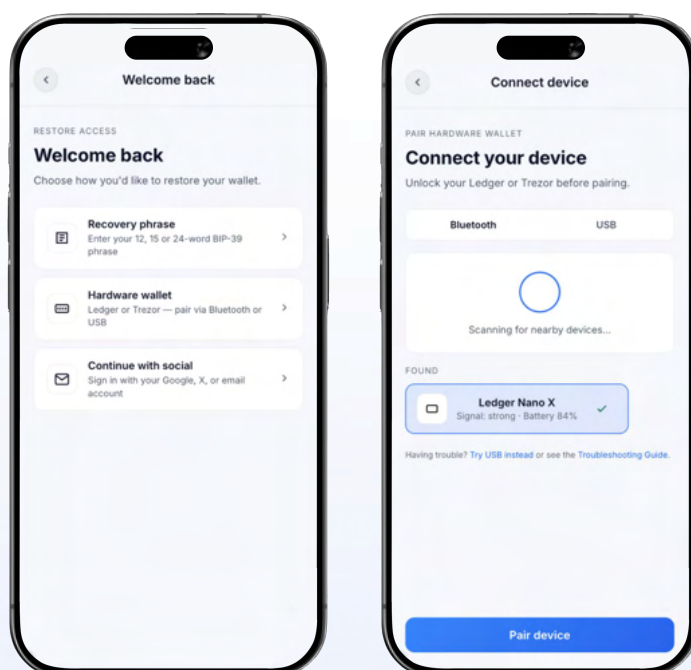
SecondFi をはじめてご利用になる際の初回セットアップの流れをご案内いたします。アプリを安全にお使いいただくため、口座（ウォレット）の開設前に、本セクションの内容を一度お読みいただくことをおすすめいたします。なお、すでに Yoroi をお使いのお客様は、後述の「移行フロー」をご参照ください。新しいウォレットの作成は不要です。



02

起動時の選択（新規作成と既存ウォレットの復元）

アプリを起動すると、「始める」と「すでにウォレットを持っています」の二つの選択肢が表示されます。はじめてウォレットを作成される場合は「Get started」を、すでにお持ちのウォレットを復元される場合は「I already have a wallet」を選択してください。



03

サインイン方法の選択（新規ウォレット）

新規にウォレットを作成される際は、お客様に合わせてサインイン方法をお選びいただけます。Apple ID（高速かつプライベート）、Google アカウント（パスワード不要）、X アカウント、またはメールアドレスとパスワードでのサインインに対応しております。お急ぎの場合はクイックスタートをご利用いただければ最短でセットアップが完了し、バックアップは後からご設定いただけます。

04 既存ウォレットの復元

「すでにウォレットを持っています。」を選ばれた場合は、二つの方法で復元していただけます。リカバリーフレーズ（12・15・24 語の BIP フレーズ）を入力する方法では、入力中に有効な単語が自動で補完されます。また、Ledger Nano X (Bluetooth) または Trezor Model T (USB) などのハードウェアウォレットをペアリングして復元することも可能です。

05 パスワードとウォレット名の設定

お好みのウォレット名をご入力いただけます（名前は後から変更可能です）。あわせて、アプリを保護するためのパスワードをご設定ください。安全性を高めるため、8 文字以上で英字と数字を含む強固なパスワードをおすすめいたします。

06 Face ID・生体認証の設定

「生体認証」の画面で、Face ID または生体認証をご設定いただけます（推奨）。生体認証を有効にすると、アプリのロック解除や取引の承認をより安全かつスムーズに行えます。後から設定される場合は「Skip for now」を選択いただけます。

SecondFi の 移行のご案内

(Yoroï Walletユーザー向け)



移行フロー（既存の Yoroi ユーザー向け）

すでに Yoroi をお使いのお客様は、以下の手順で SecondFi へスムーズに移行していただけます。大切な資産やウォレットはそのまま引き継がれ、新規ウォレットの作成や資産の移動は不要です。

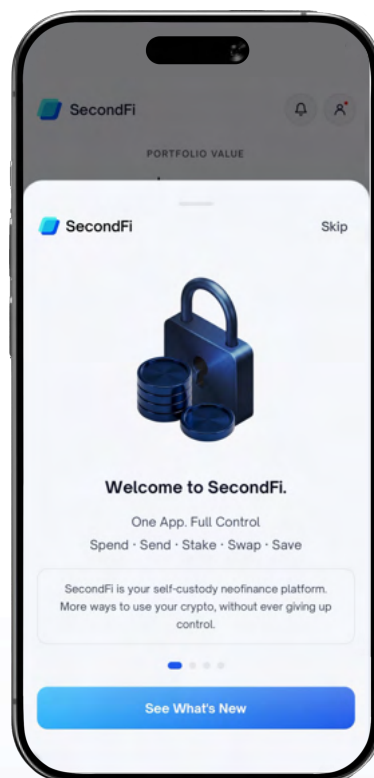
アプリの更新について：Yoroi アプリは App Store および Google Play を通じて数時間かけて段階的に SecondFi へ更新されます。そのため、他のユーザーより早く表示される場合も、遅くなる場合もございます。自動更新がオンの場合は自動的に SecondFi へ更新されますので、更新完了後にアプリを開いてください。自動更新がオフの場合は、App Store (iOS) または Google Play (Android) から手動で更新してください。更新されない場合、更新が完了するまで Yoroi で取引を行うことはできません。更新は必ず公式ストアからのみ行い、送付されたリンクからはインストールしないでください。

更新後にウォレットが表示されない場合：ほとんどのウォレットは自動で引き継がれますが、万が一、移行が自動で始まらなかったり、ウォレットが検出されない場合は、リカバリーフレーズを使ってアプリ内でご自身で復元していただけます。①オンボーディング画面で「すでにウォレットを持っています。」を選択します。②リカバリーフレーズを番号付きのグリッドに入力します。③表示される選択肢に応じて、PIN・パスワード・生体認証のいずれかで認証設定を完了します。④ウォレットが SecondFi で復元されます。なお、この復元は公式の SecondFi アプリ内でのみ行ってください。リカバリーフレーズを Web サイトや、メッセージ・DM・メールなどに応じて入力することは絶対になさらないでください。本来の復元は、お客様ご自身がアプリ内で開始されるものです。リカバリーフレーズを尋ねてくる相手は、例外なく詐欺です。また、更新前にリカバリーフレーズをバックアップしておくことが、万が一に備える最も安全な方法です。

STEP 1 | ウェルカム画面

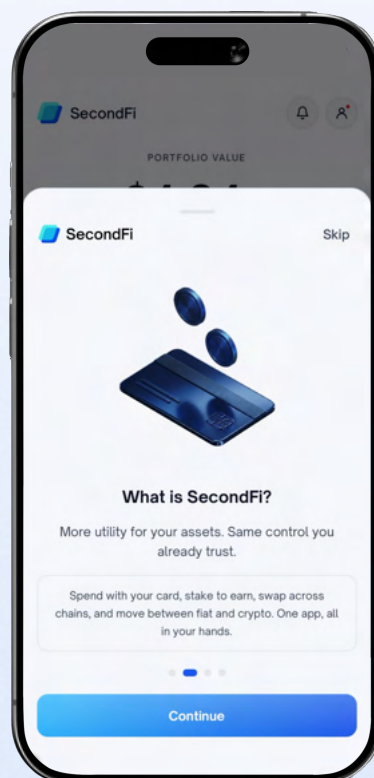
アプリを開くと「Welcome to SecondFi. One App. Full Control.」という画面が表示されます。Spend・Send・Stake・Swap・Saveの五つの機能が並びます。

「See What's New」ボタンをタップして次へ進みます。



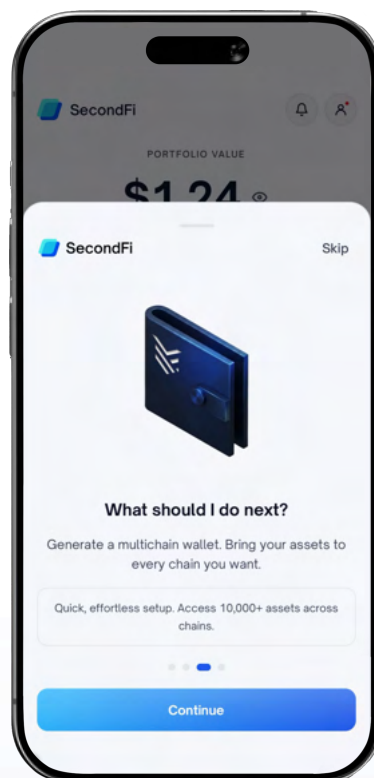
STEP 2 | SecondFi とは？

「More utility for your assets. Same control you already trust.」（資産をもっと活用できる。セルフカストディはそのまま）と表示されます。カードでのお支払い・ステーキング・スワップなどが一つのアプリで管理できます。



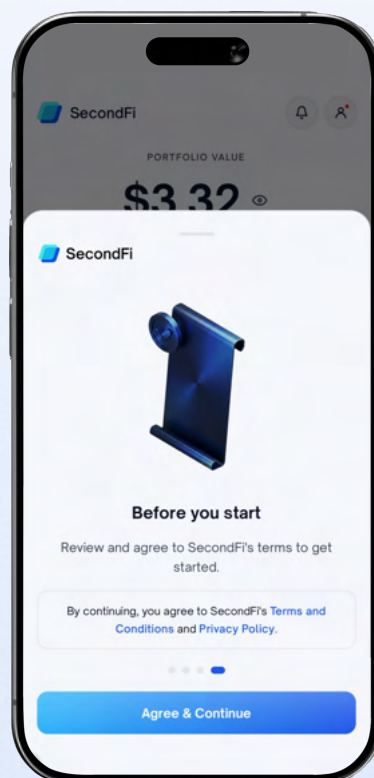
STEP 3 | 次にすること

「Activate multichain」というご案内が表示されます。マルチチェーンウォレットを作成すると、Cardano 以外のチェーンにも対応し、10,000 以上の資産にアクセスできるようになります。



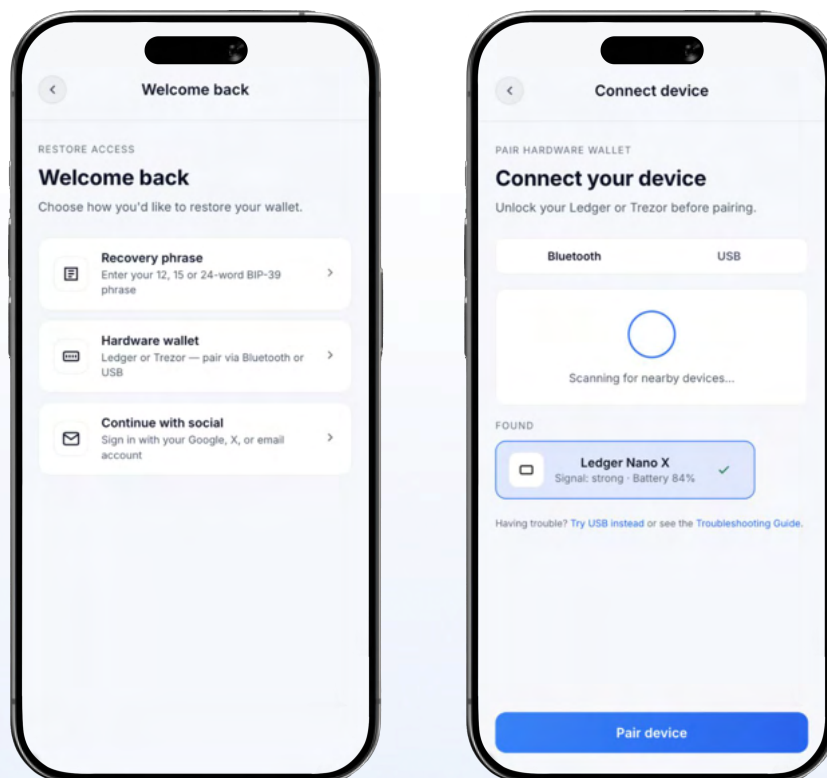
STEP 4 | 開始前の確認

SecondFi の利用規約とプライバシーポリシーへの同意画面が表示されます。内容をご確認のうえ、同意して次へ進みます。



STEP 5 | ウォレットの選択

「Restore Wallets」画面で、デバイス内の Yoroi ウォレットが自動で検出されます（例：4 wallets found、3 selected）。移行されたいウォレットを選択します。選択されなかったウォレットは後からいつでも復元でき、削除されることはありません。



STEP 6 | 復元方法の選択

二種類からお選びいただけます。「Full Restoration（完全復元）」は15ワードのシードフレーズで復元し、Cardano・Solana・Ethereum・Base・Bitcoinすべてにアクセス可能です（おすすめ）。「Partial Restoration（部分復元）」はYoroiのパスワードのみでCardanoだけを復元し、マルチチェーンは後から有効化できます。

STEP 7 | App password の作成

SecondFi アプリ全体を守る新しいパスワードを設定します。8 文字以上で英字と数字を含む強固なパスワードをおすすめいたします。

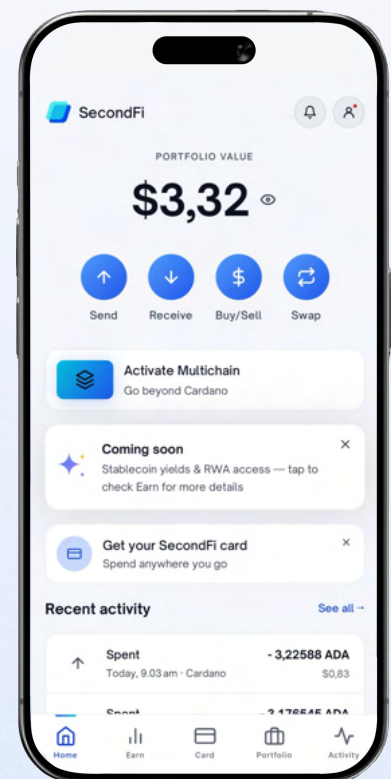
STEP 8 | 移行完了

「You're all set」画面が表示されれば移行は完了です。Wallets restored、Master password : Active、Biometrics : Enabled と表示されます。「Go to home」をタップしてホーム画面へ進みます。

08 マルチチェーンの有効化（オプション）

ホーム画面の「Activate multichain — Go beyond Cardano」バナーから、いつでもマルチチェーンを有効化できます。有効化したいウォレットのシードフレーズを入力すると、Solana・Ethereum・Base・Bitcoin にも対応します。有効化されなかったウォレットは Cardano 専用のまま引き続きご利用いただけます。

【対応チェーンについて】マルチチェーンを有効化されると、一つのアプリで複数のネットワークの資産（10,000 以上）を管理できます。現在の対応チェーンは、Cardano・Bitcoin・Ethereum・BNB Smart Chain・Solana・Base・Avalanche・Tron の 8 チェーンです（今後のフェーズでさらに追加予定です）。ネットワークをまたいだスワップや送金もご利用いただけます。なお、マルチチェーンの機能はいずれも任意です。いつでも有効化できますし、これまでと同じようにウォレットをご利用いただくこともできます。



ブラウザ拡張機能について

モバイルアプリに加えて、ブラウザ拡張機能も SecondFi に変わります。新しい SecondFi 拡張機能は MetaMask のような動作となり、これまでの Yoroi のようなポップアップではなく、ブラウザのサイドバーで表示されます。見た目と表示位置が変わりますが、拡張機能のインストールは公式ストアおよび secondfi.io からのみ行い、送付されたリンクからはインストールしないでください。

09 アプリ各機能の使い方（詳細については画面ガイドをご確認ください）

09-1 | アプリ各機能の使い方（詳細については画面ガイドをご確認ください）

Send（送金）

ホーム画面の「Send」をタップし、送金先アドレスまたは連絡先を入力し、金額と通貨を選んで送信します。

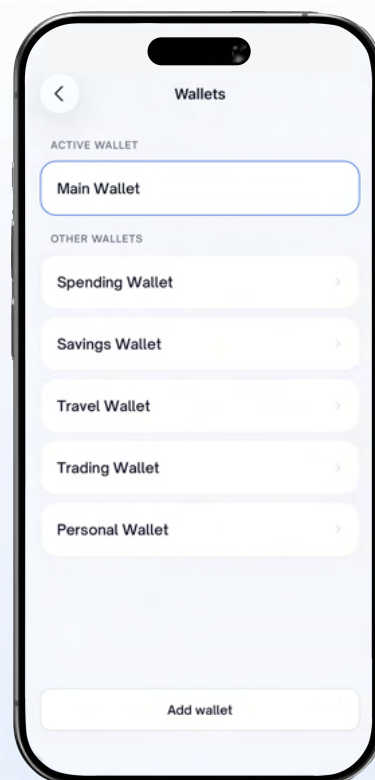
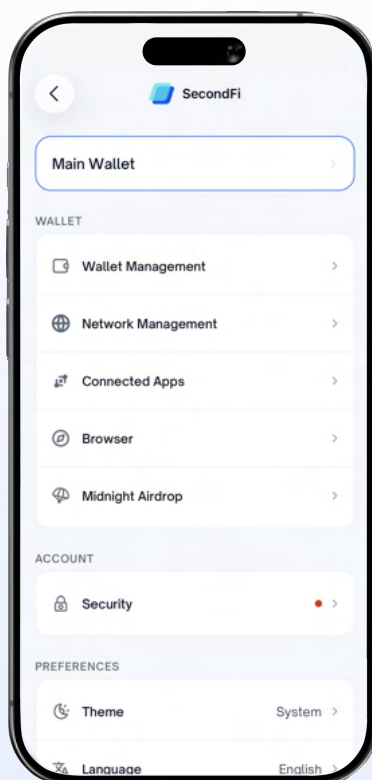
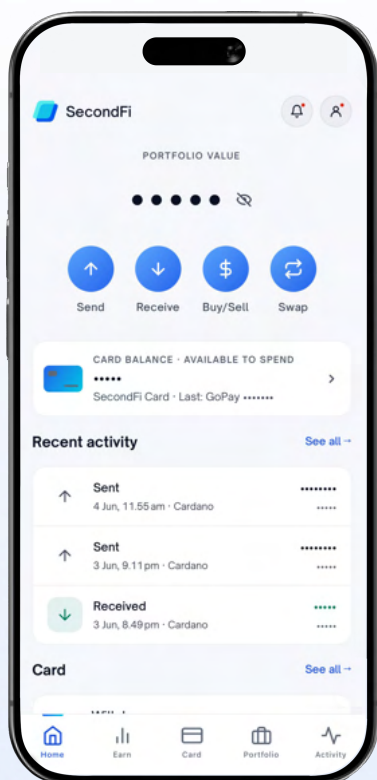
Swap（スワップ）

「Swap」をタップし、交換元と交換先の通貨を選択して金額を入力し、スワップを実行します。

09-2 | SecondFi で複数のウォレットを切り替える方法

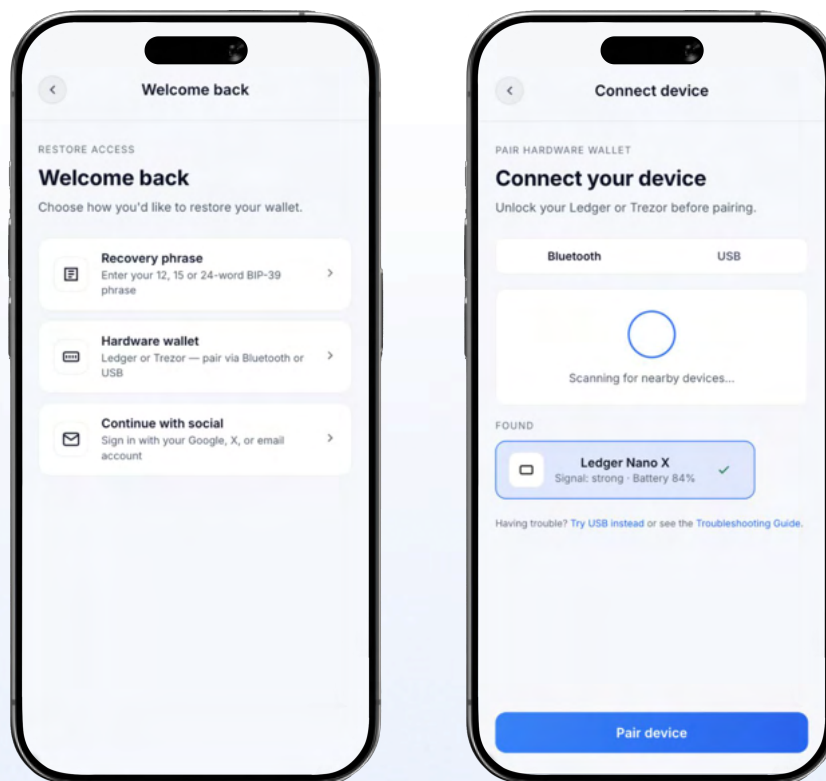
Yoroi で複数のウォレットをお持ちの場合、それらのウォレットはすべて SecondFi に移行されます。ウォレットを切り替えるには、以下の手順で操作してください：

1. 画面右上のプロフィールアイコンをタップします
2. 上部に表示されているウォレット名をタップします
3. 接続されているすべてのウォレットが表示されるので、切り替えたいウォレットをタップします



ハードウェアウォレットをご利用のお客様（Ledger・Trezor）：

SecondFi は Ledger または Trezor を Bluetooth または USB で接続してご利用いただけます。ペアリングの前に、デバイスの電源を入れ、ロックを解除してください。Ledger の場合は、該当するブロックチェーンのアプリ（最初に Cardano (ADA)、続いて Base・Bitcoin・Ethereum・Solana）を開くよう求められます。Trezor の場合は単一のインターフェースですべての対応ネットワークを扱えるため、個別にアプリを開く必要はありません。ハードウェアウォレットの対応ネットワークは Cardano・Base・Bitcoin・Ethereum・Solana です。



SecondFi をはじめてセットアップされる場合（まだウォレットがない場合）：

1. ウェルカム画面で「すでにウォレットを持っています。」をタップします。
2. 「ウォレットを作成する」画面で「ハードウェアウォレットを接続」をタップします。

3. 「デバイスを接続」画面で、ブランド（Ledger または Trezor）と接続方法（Bluetooth または USB）を選びます。デバイスが表示されたら選択し、「Pair device」をタップします。Bluetooth がうまくいかない場合は「Try USB」をお試しください。

4. Ledger では求められたアプリを開きます（Trezor のお客様はこの手順を省略できます）
各ネットワークが確認され、ハードウェアウォレットの準備が完了します。

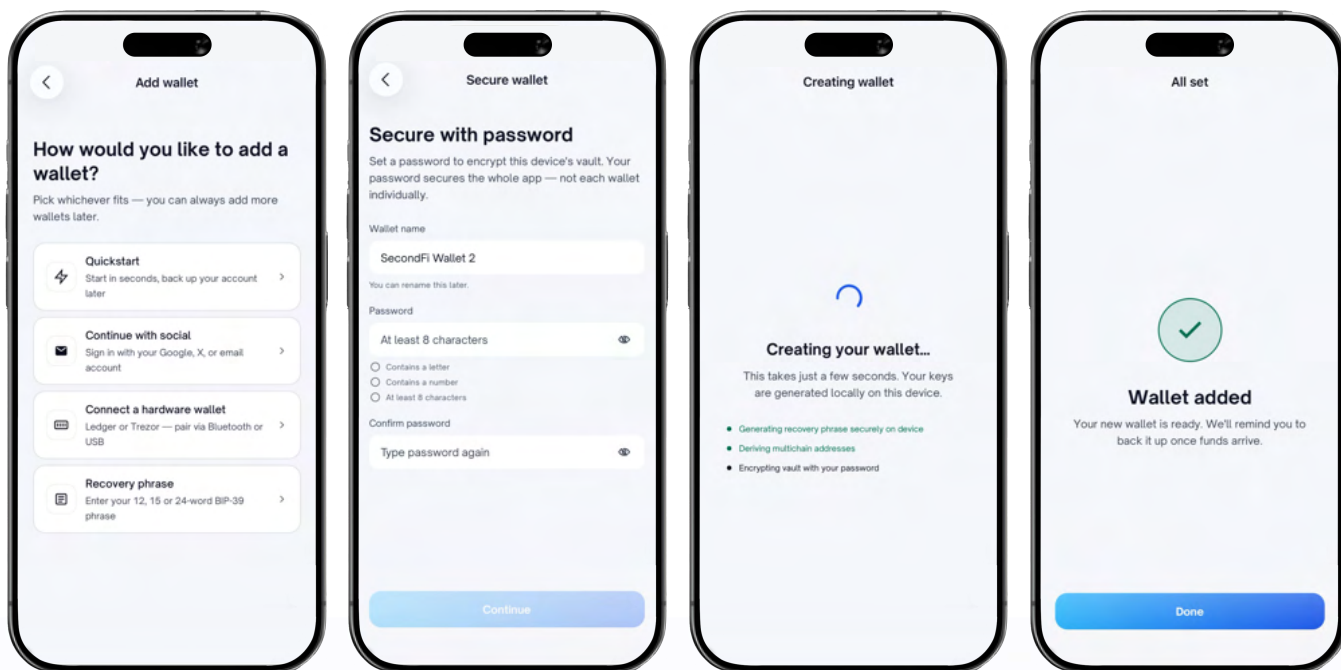
すでに SecondFi にウォレットがあり、ハードウェアウォレットを追加される場合：

1. ホーム画面で右上のプロフィールアイコンをタップし、設定（Settings）を開きます。

2. 上部のウォレット名をタップし、「Wallets」画面を開きます。

3. 「Add wallet」、続いて「Connect a hardware wallet」をタップします。

4. 上記と同じ要領でデバイスを接続・ペアリングし、求められた Ledger のアプリを開き、セットアップが完了したら「Go to Dashboard」をタップします。



Earn (利回り)

ステーブルコイン利回りと RWA アクセスが近日公開予定です。ADA ステージング報酬も Earn セクションでご確認いただけます。

Portfolio (ポートフォリオ) ・ Activity (履歴)

Portfolio では保有する全資産を一覧で、Activity ではすべての取引・ステーキング報酬・スワップ履歴・を時系列でご確認いただけます。

10 セキュリティ（必ずお守りください）

お客様の大切な資産を詐欺からお守りするため、以下を必ずご確認ください。**リカバリーフレーズ（シードフレーズ）は、どなたにも絶対にお教えにならないでください。SecondFi・Yoroiの公式スタッフがリカバリーフレーズをお尋ねすることは一切ございません。**

「移行が必要」「緊急対応が必要」などとDMで迫ってくる相手は詐欺です。公式以外のURLからアプリをダウンロードしたり、見知らぬサイトに秘密鍵やパスワードを入力したりしないでください。公式情報はSecondFi公式サイト・公式X（旧Twitter）のみでご確認ください、不明な点は公式サポートへお問い合わせください。

公式X（旧Twitter）アカウントは@secondfiapp および@secondfi_jpです。

ご不明な点やご懸念はこれらの公式アカウント宛にお問い合わせください。

なお、公式から皆様へ先にダイレクトメッセージ（DM）をお送りすることは一切ありません。「移行をお手伝いします」「ウォレットを確認します」などと先方からDMが届いた場合は詐欺ですので、ご対応なさらないでください。

移行期間中の追加のご注意：移行のタイミングは詐欺が最も活発になりやすい時期です。以下を必ずお守りください。SecondFiがリカバリーフレーズをお尋ねすることは、アプリ内・DM・その他いかなる手段でも一切ございません。また、SecondFiが「移行をお手伝いします」「ウォレットを確認します」などと、公式から先にDMをお送りすることはありません。更新によって資産の移動や送金をお願いすることはありません。「移行を完了させるために資金を送金せよ」と言う相手は詐欺です。お客様が資産を動かされる必要はなく、資産は常にお客様の管理下にあります。公式の情報源（公式のApp Store・Google Playのリスティング、およびsecondfi.io）のみをご利用いただき、送付された更新リンクには応じないでください。

11 よくあるご質問（FAQ）

Q. 新しいウォレットを作り直す必要はありますか？

A. いいえ。既存の Yoroi ウォレットは SecondFi にそのまま引き継がれます。

Q. 資産（ADA）を移動させる必要はありますか？

A. いいえ。資産の移動は不要で、そのまま維持されます。

Q. ステーキングや DRep 設定はリセットされますか？

A. いいえ。ステーキングも DRep 設定も、そのまま引き継がれます。

Q. ステークプールと DRep（ガバナンス委任先）はどうやって確認できますか？

A. 委任内容はそのまま引き継がれ、数タップでご確認いただけます。
①SecondFi を開きます。②下部メニューの「Earn（運用）」をタップします。③「Manage（管理）」をタップします。④現在の ADA ステーキングとガバナンス（DRep）の委任状況をご確認いただけます。再委任（再デレゲート）の必要はありません。

Q. Partial Restoration と Full Restoration の違いは？

- A. Partial Restoration は Yoroi パスワードのみで復元でき Cardano のみ対応、Full Restoration は 15 ワードのシードフレーズが必要ですが Ethereum ・ Solana ・ Bitcoin 等のマルチチェーンにも対応します。

Q. リカバリーフレーズを教えるよう求められた場合は？

- A. 絶対にお教えにならないでください。それは詐欺です。公式スタッフがリカバリーフレーズをお尋ねすることは一切ございません。

Q. マルチチェーン（Ethereum 等）は後から有効化できますか？

- A. はい。ホーム画面の「Activate multichain」バナーから、いつでも有効化できます。

Q. NIGHT エアドロップとは？

- A. 対象ウォレットの場合、ホーム画面に NIGHT エアドロップのバナーが表示されます。タップすると、付与数を確認して NIGHT トークンを受け取れます。

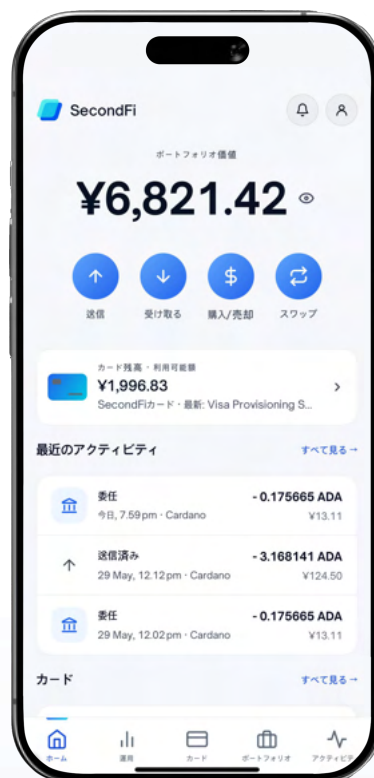
12 アプリ画面ガイド（画面ごとの使い方）

ここからは、SecondFi アプリの主な画面を、実際の画面イメージとともに画面ごとにご説明いたします。はじめてのお客様でも迷わずにお使いいただけるよう、各画面の見方と操作のポイントを順にご案内します。なお、掲載の数値・残高はすべて表示例です。

画面ガイド①

ホーム（ポートフォリオ価値とクイック操作）

アプリの中心となるホーム画面です。画面上部には保有資産合計のポートフォリオ価値（例：¥6,821.42）が円表示され、「送信」「受け取る」「購入・売却」「スワップ」の主要なお手続きにクイックひとつでアクセスできます。



画面ガイド②

ステーキングとガバナンス

保有されている ADA のステーキング状況を一目でご確認いただける画面です。推定利回り、委任中のステーク数量、これまでに獲得された報酬、次回報酬までの目安が表示されます。ステークプールおよび DRep（ガバナンス委任先）の設定も、この画面から維持・ご確認いただけます。



画面ガイド③

運用 (Earn)

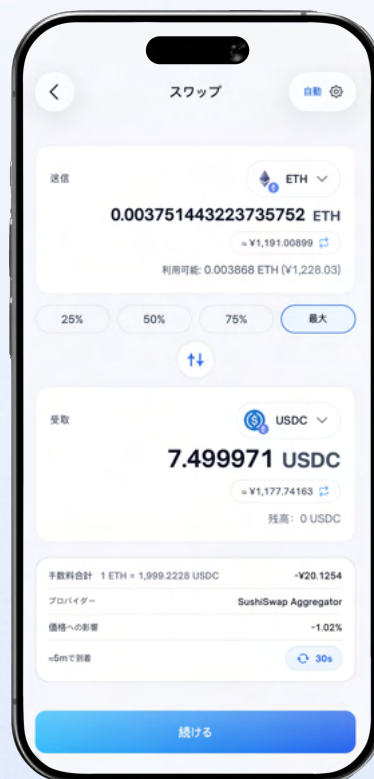
ご資産の運用状況をまとめてご確認いただける画面です。累計報酬、ステーキング合計、平均ROA（推定利回り）が上部に表示され、現在ご提供中の「ADAステーキングとガバナンス」に加え、近日公開予定のステーブルコイン利回り（推定APY 4～8%）もこちらからご確認いただけます。ロックアップ期間はなく、いつでも引き出しが可能です。



画面ガイド④

スワップ (交換の例： ETH→USDC)

スワップの具体的な画面例です。こちらでは、保有されている ETH の一部を USDC（米ドル連動のステーブルコイン）に交換する例を示しています。送信量はパーセンテージ（25%・50%・75%・最大）から簡単にご指定いただけ、受取予定数量や参考レートがその場で更新されます。



画面ガイド⑤

暗号資産の購入・売却

法定通貨（円）での暗号資産の購入と、保有資産の売却を、ひとつの画面からシンプルにお手続きいただけます。上部の「購入」「売却」タブを切り替え、対象資産と金額をご指定いただくだけで、参考レートや受取見込量がその場で表示されます。



画面ガイド⑥

お支払い方法の選択

購入手続きの際に、お支払い方法を選んでいただく画面です。Apple Pay やデビット・クレジットカードなど、即時でご利用いただける手段が並びます。お支払いは決済パートナーである Banxa を通じて安全に処理され、カード情報が当社側に保存されることはありません。



画面ガイド⑦

スワップ（交換の例：AVAX→ETH）

こちらは AVAX を ETH（イーサリアム）へ交換する例です。送信量をパーセンテージでご指定いただくと、受取予定数量や参考レートがその場で表示されます。手数料や提携プロバイダー、価格への影響も事前にご確認いただけるため、安心して交換を進めていただけます。



画面ガイド⑧

運用ダッシュボード（残高・利回りの推移）

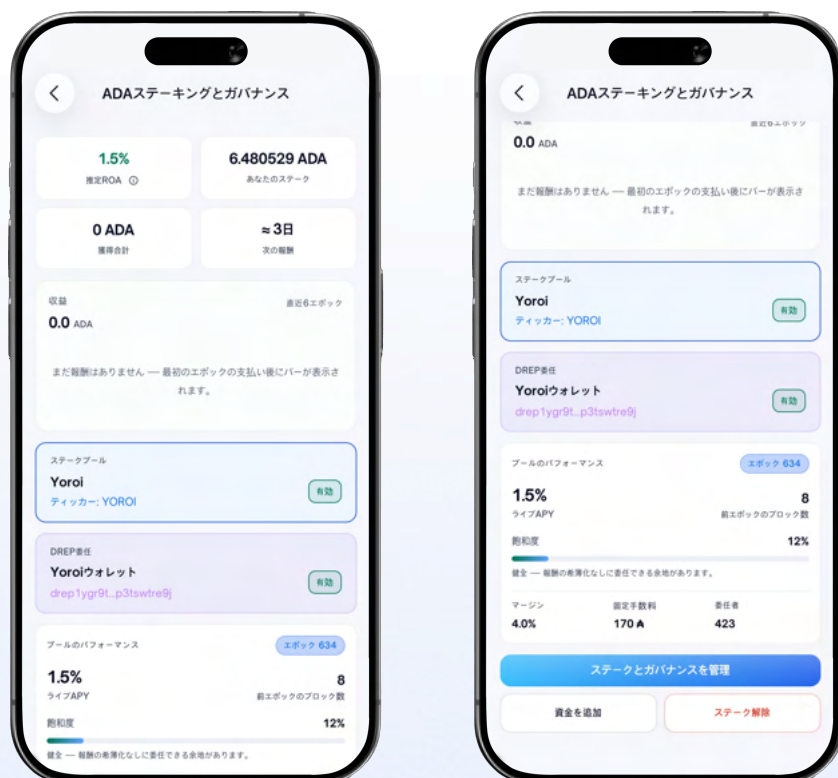
取引後の運用状況を、円表示でわかりやすくご確認いただけるダッシュボードです。累計報酬、ステーキング合計、平均ROA（推定利回り）が上部にまとめて表示され、「管理」から個別のステーキング設定へすぐに遷移できます。表示通貨は日本円にも切り替えられ、資産状況を直感的に把握していただけます。



画面ガイド⑨

ADA ステージングとガバナンス（詳細管理）

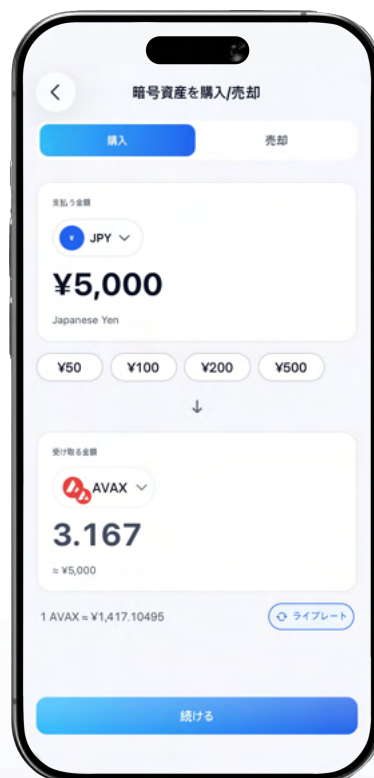
ADA のステーキングとガバナンスを詳しく管理いただける画面です。推定 ROA、委任中のステーク数量、獲得合計、次回報酬までの目安に加え、直近6エポックの収益推移もご確認いただけます。ご利用中のステークプールや DRep（ガバナンスの委任先）の設定も、この画面から維持・変更していただけます。



画面ガイド⑩

購入（円での購入の例： JPY→AVAX）

「購入」タブを選んだ状態の画面で、日本円で暗号資産を購入する例です。支払う金額をご入力いただくか、¥50～¥500などのクイックボタンで手軽に指定でき、受け取り予定量がライブレートでその場に表示されます。金額とレートをご確認の上、「続ける」よりお進みいただけます。



画面ガイド⑪

ホーム（アクティビティとポート フォリオ）

アプリを開いた際に最初に表示されるホーム画面です。直近のアクティビティ（委任・出金など）や、USDC・AVAXをはじめとする保有資産のポートフォリオが一覧でご確認いただけます。画面下部のナビゲーションから、運用・ポートフォリオ・アクティビティの各画面へすぐにアクセスしていただけます。



画面ガイド⑫

送金（暗号資産の送信）

「購入」タブを選んだ状態の画面で、日本円で暗号資産を購入する例です。支払う金額をご入力いただくか、¥50～¥500などのクイックボタンで手軽に指定でき、受け取り予定量がライブレートでその場に表示されます。金額とレートをご確認の上、「続ける」よりお進みいただけます。

